シマエナガ通信　第２号　初期研修医の学会デビュー

去る2026年3月31日、当院での2年間の初期臨床研修を修了した寺澤初音先生に修了証の授与と記念品の贈呈を行いました。4月から新たな環境で専門研修に入られます。さらなる精進と活躍をお祈りいたします。

4月現在、当院には初期研修医が5名在籍しています。皆さん各診療科をローテーションしながら、病棟、外来、手術や処置、救急と毎日忙しく研修に励んでいます。2年間の研修期間に知識や技術の習得に励むことはもちろん重要ですが、研修医の皆さんにはできるだけ学会での発表を経験してもらうようにしています。学会といっても「地方会」という規模の小さいものですが、医師として科学的・論理的な態度を身につけるための第一歩として重要な場、いわば「登竜門」です。日本内科学会での症例報告の発表が多いですが、座長の先生は道内の研修病院の「その道の専門家」ですし、会場には道内医育大学の教授がおられることも・・・。もしかしたら発表する研修医よりも会場で見守る私の方が緊張しているかもしれません。

過去3年間の当院からの発表は以下のとおりです。北海道内科学会地方会、西口裕貴先生（第297回）、佐々木健先生（第300回）、寺澤初音先生（第303回）、李　承勇先生（第304回）、李　恩燁先生（第306回）。学会発表の後には各研修医の先生は自己の成長を実感していることでしょう。（高橋）



院内で開催された臨床病理検討会（CPC）での
発表のようす